

草津市の障害者福祉の動向

統計等による概況

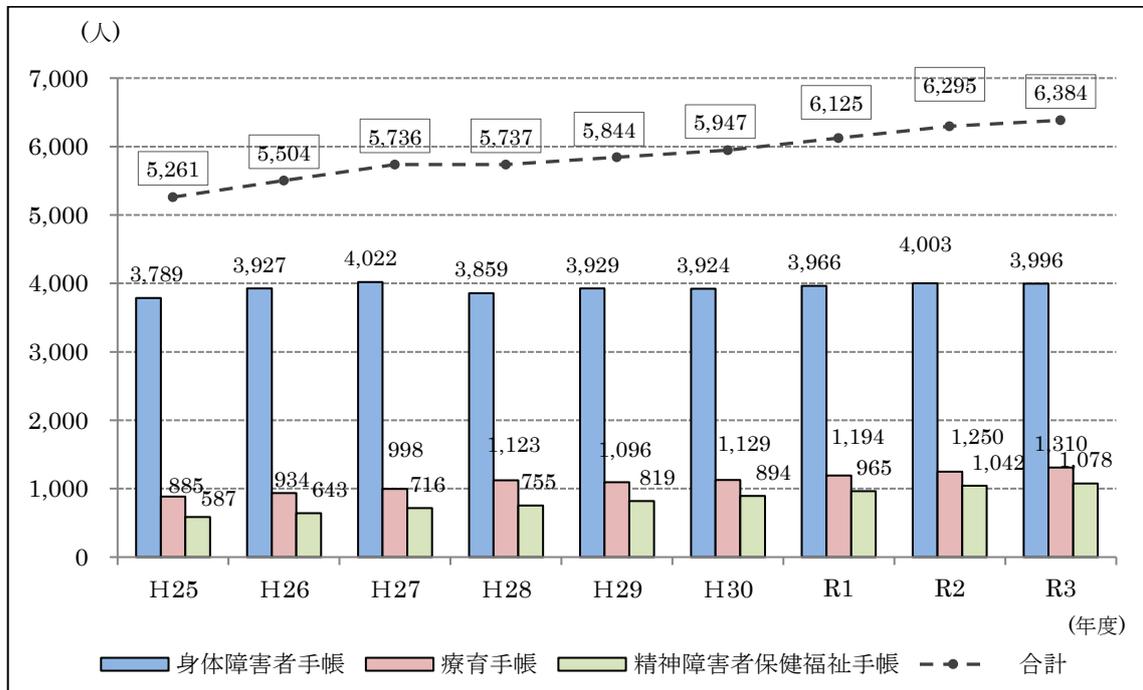
1 障害者の数

◆手帳所持者数と実在住者数

(単位：人 %)

年度	草津市の人口 A	障害者手帳所持者数 B(a+b+c)	対人口比 B/A	身体障害者手帳 a	比率 a/A	療育手帳 b	比率 b/A	精神障害者保健福祉手帳 c	比率 c/A
H26年度	128,833	5,504	4.27	3,927	3.05	934	0.72	643	0.50
H27年度	130,485	5,736	4.40	4,022	3.08	998	0.76	716	0.55
H28年度	131,846	5,737	4.35	3,859	2.93	1,123	0.85	755	0.57
H29年度	132,917	5,844	4.40	3,929	2.96	1,096	0.82	819	0.62
H30年度	134,224	5,947	4.43	3,924	2.92	1,129	0.84	894	0.67
R1年度	135,116	6,125	4.53	3,966	2.94	1,194	0.88	965	0.71
R2年度	136,254	6,295	4.62	4,003	2.94	1,250	0.92	1,042	0.76
R3年度	137,321	6,384	4.65	3,996	2.91	1,310	0.95	1,078	0.79

資料：福祉行政報告例



草津市の手帳所持者の総数は、6,384 人であり、人口の 4.65%に相当します。約 22 人に 1 人が障害者であり、身体障害者 3,996 人、知的障害者 1,310 人、精神障害者 1,078 人となります。障害者数全体としては増加傾向となっています。

2 身体障害者の現状

① 障害等級別の身体障害者手帳所持者数の推移

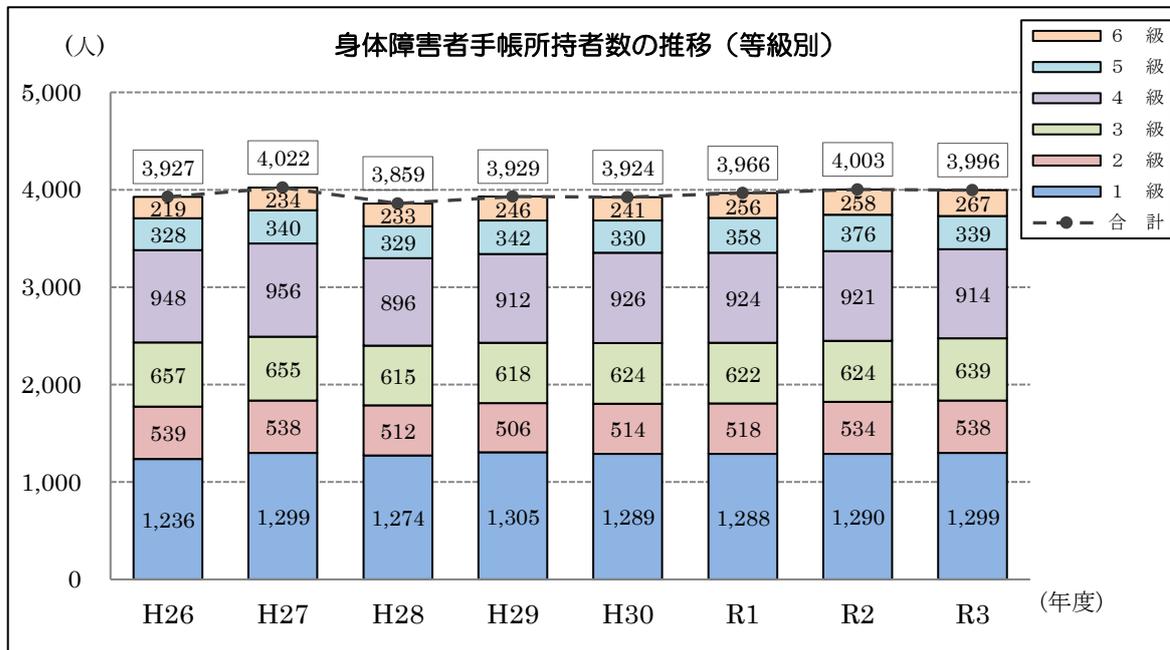
(単位：人)

人数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1 級	1,236	1,299	1,274	1,305	1,289	1,288	1,290	1,299
2 級	539	538	512	506	514	518	534	538
3 級	657	655	615	618	624	622	624	639
4 級	948	956	896	912	926	924	921	914
5 級	328	340	329	342	330	358	376	339
6 級	219	234	233	246	241	256	258	267
合計	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966	4,003	3,996
前年度増加率	1.04	1.02	0.96	1.02	1.00	1.01	1.01	1.00

(単位：%)

割合	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1 級	31.5	32.3	33.0	33.2	32.9	32.4	32.2	32.4
2 級	13.7	13.4	13.3	12.9	13.1	13.1	13.4	13.5
3 級	16.7	16.3	15.9	15.7	15.9	15.7	15.6	16.0
4 級	24.1	23.8	23.2	23.2	23.5	23.3	23.0	22.9
5 級	8.4	8.5	8.5	8.7	8.4	9.0	9.4	8.5
6 級	5.6	5.8	6.0	6.3	6.1	6.5	6.4	6.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1・2級の割合	45.2	45.7	46.3	46.1	45.9	45.5	45.6	45.9

(各年度末現在)



身体障害者は令和3年度に台帳の整理を行ったため前年度と比較すると若干の減少となりました。

令和3年度では、身体障害者数全体の約45.9%（1,837人）が手帳1級・2級の重度障害者です。

②障害部位別の身体障害者手帳所持者数の推移

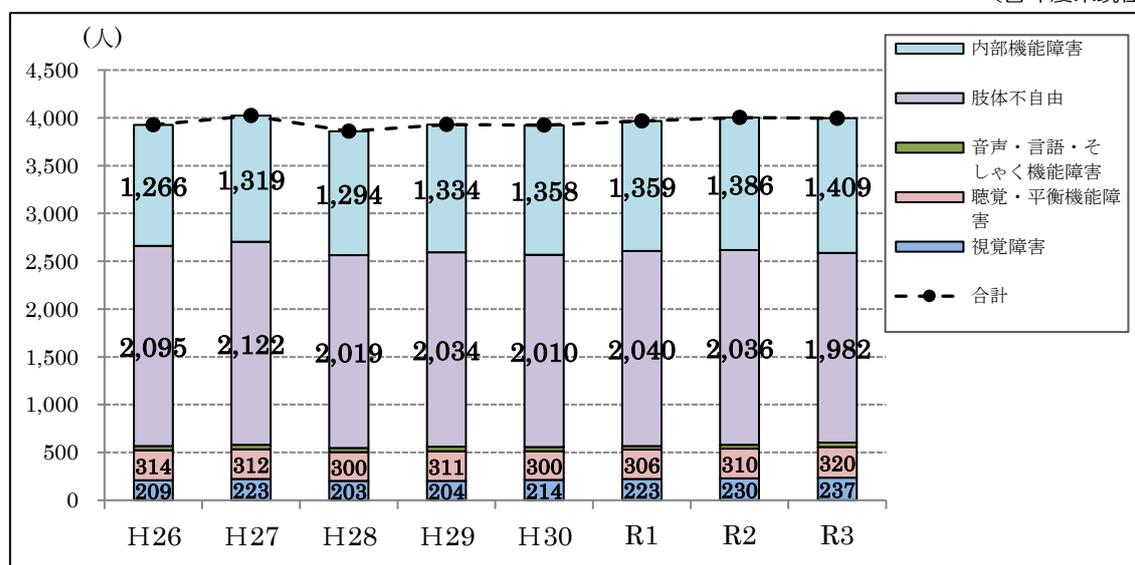
(単位：人)

人数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
視覚障害	209	223	203	204	214	223	230	237
聴覚・平衡機能障害	314	312	300	311	300	306	310	320
音声・言語・そしゃく機能障害	43	46	43	46	42	38	41	48
肢体不自由	2,095	2,122	2,019	2,034	2,010	2,040	2,036	1,982
心臓障害	711	736	718	744	747	761	772	797
腎臓障害	297	311	328	332	332	326	338	338
呼吸器障害	65	71	65	64	68	64	62	60
膀胱・直腸・免疫不全	180	187	170	180	196	193	200	200
肝臓障害(※1)	13	14	13	14	15	15	14	14
内部機能障害 小計	1,266	1,319	1,294	1,334	1,358	1,359	1,386	1,409
合計	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966	4,003	3,996

(単位：%)

割合	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
視覚障害	5.3	5.5	5.3	5.2	5.5	5.6	5.8	5.9
聴覚・平衡機能障害	8.0	7.8	7.8	7.9	7.6	7.7	7.8	8.0
音声・言語・そしゃく機能障害	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	1.2
肢体不自由	53.3	52.8	52.3	51.8	51.2	51.4	50.9	49.6
心臓障害	18.1	18.3	18.6	18.9	19.0	19.2	19.3	19.9
腎臓障害	7.6	7.7	8.5	8.4	8.5	8.2	8.4	8.5
呼吸器障害	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.5	1.5
膀胱・直腸・免疫不全	4.6	4.6	4.4	4.6	5.0	4.9	5.0	5.0
肝臓障害(※1)	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4
内部機能障害 小計	32.2	32.8	33.5	34.0	34.6	34.3	34.6	35.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)



令和3年度では、車いすや歩行器使用者等の肢体不自由が1,982人(49.6%)、内部機能障害のうちペースメーカーなどの心臓機能障害が797人(19.9%)、人工透析などの腎臓機能障害338人(8.5%)と続きます。近年の傾向としては、心臓機能障害、腎臓機能障害の占める割合が増加しています。

3 知的障害者の現状

◆総合判定別の療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

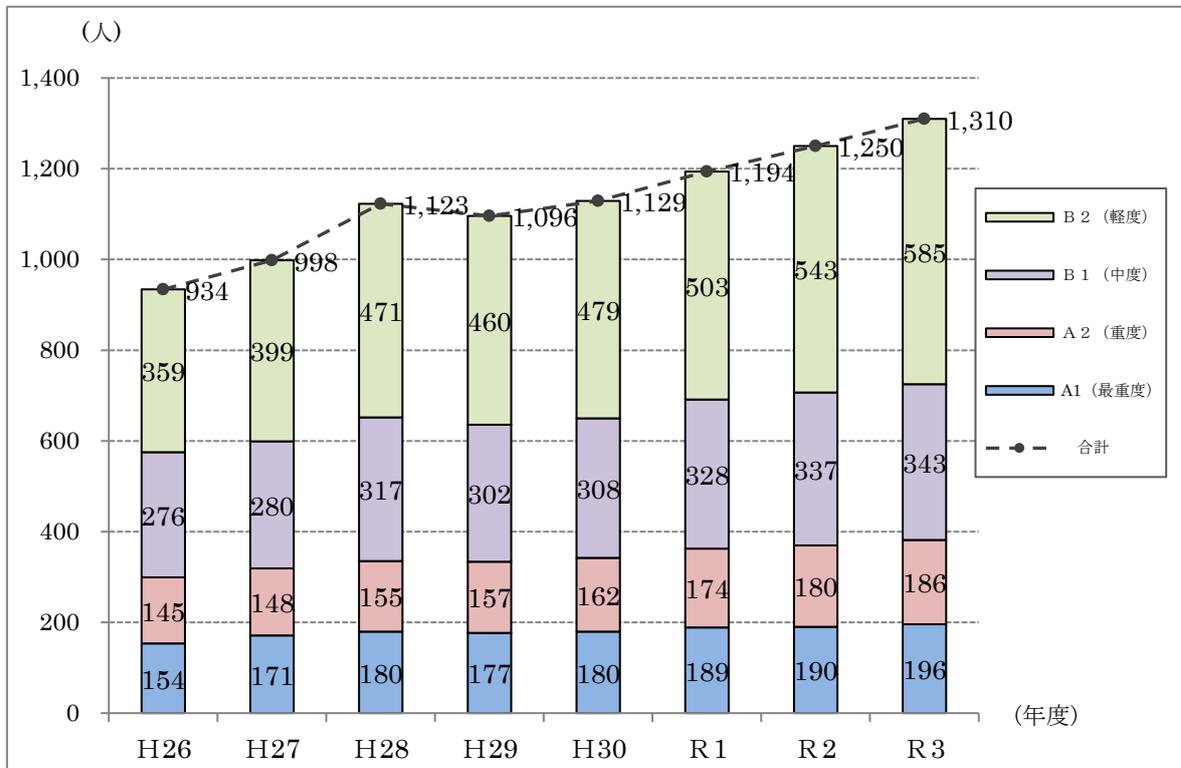
人数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
A1 (最重度)	154	171	180	177	180	189	190	196
A2 (重度)	145	148	155	157	162	174	180	186
B1 (中度)	276	280	317	302	308	328	337	343
B2 (軽度)	359	399	471	460	479	503	543	585
合計	934	998	1,123	1,096	1,129	1,194	1,250	1,310
前年度増加率	1.06	1.07	1.13	0.98	1.03	1.06	1.05	1.05

(単位：%)

割合	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
A1 (最重度)	16.5	17.1	16.0	16.1	15.9	15.8	15.2	15.0
A2 (重度)	15.5	14.8	13.8	14.3	14.3	14.6	14.4	14.2
B1 (中度)	29.6	28.1	28.2	27.6	27.3	27.5	27.0	26.2
B2 (軽度)	38.4	40.0	41.9	42.0	42.4	42.1	43.4	44.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



知的障害者は平成29年度では若干減少していますが、平成30年度以降は増加しています。令和3年度では全体の約70% (928人) が手帳B1・B2の軽中度障害者となっています。特に手帳B2 (軽度) の増加率が大きく、周知啓発や関係機関等において支援につなげる取り組みが進んでいるため、増加傾向になっているものと思われます。

4 精神障害者の現状

◆等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位：人)

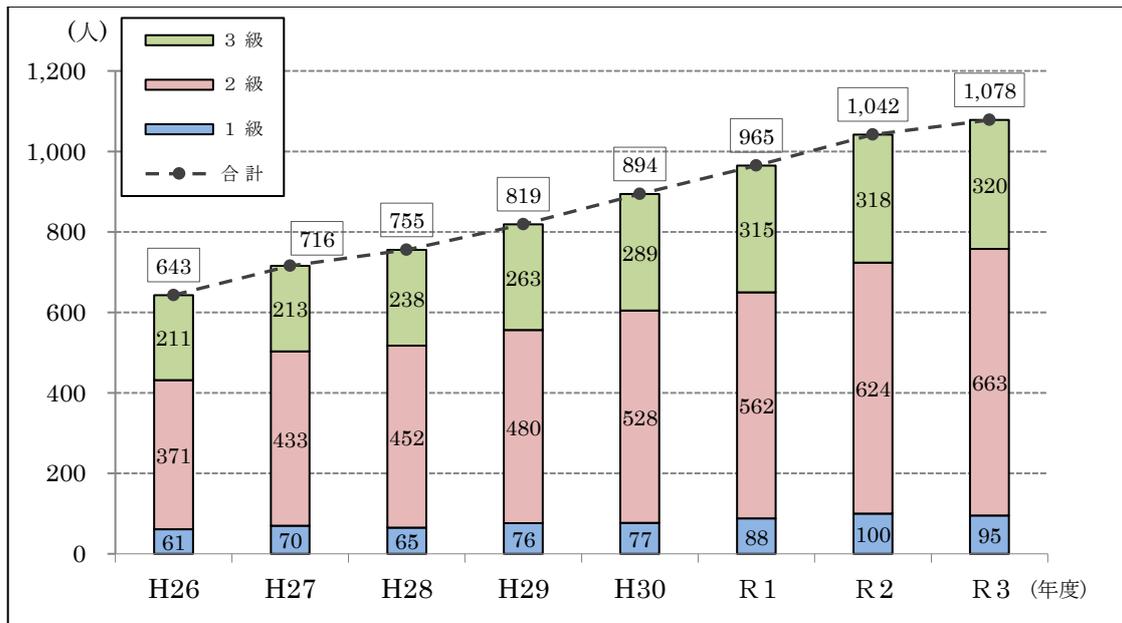
人数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1 級	61	70	65	76	77	88	100	95
2 級	371	433	452	480	528	562	624	663
3 級	211	213	238	263	289	315	318	320
合計	643	716	755	819	894	965	1,042	1,078
前年度増加率	1.13	1.11	1.05	1.08	1.09	1.08	1.08	1.03

(単位：%)

割合	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1 級	9.5	9.8	8.6	9.3	8.6	9.1	9.6	8.8
2 級	57.7	60.5	59.9	58.6	59.1	58.2	59.9	61.5
3 級	32.8	29.7	31.5	32.1	32.3	32.7	30.5	29.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ



精神障害者は毎年増加しております。等級別の増減としては、手帳2・3級が増加しています。全体の約70%(758人)が手帳1級・2級の重度障害者となっています。

5 年齢階層別手帳所持者数

①身体障害者手帳所持者数（年齢階層別）

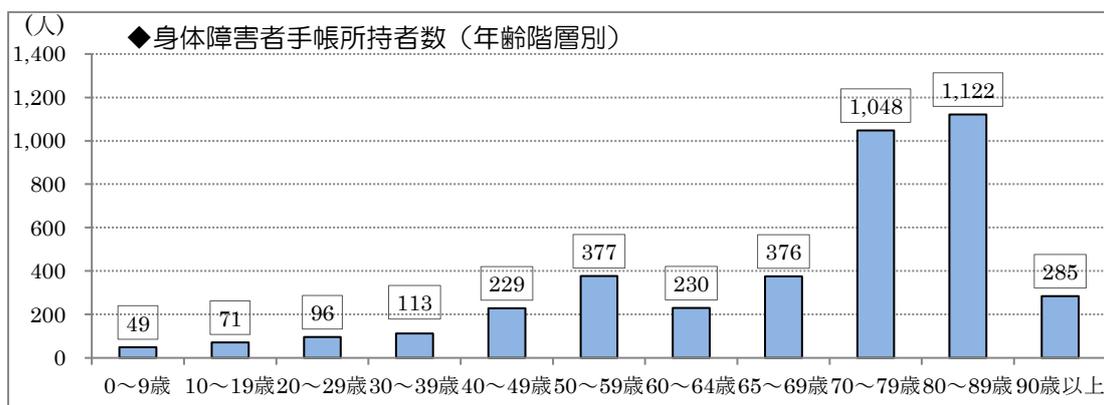
（単位：人）

区分	等級別						計	※障害部位別				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級		視覚	聴/平	音言そ	肢体	内部
0～9歳	29	6	8	3	1	2	49	1	5	1	34	8
10～19歳	38	11	11	8	1	2	71	2	9	0	46	14
20～29歳	35	21	14	18	4	4	96	7	12	2	52	23
30～39歳	55	20	12	17	5	4	113	3	14	5	51	40
40～49歳	79	37	29	36	31	17	229	10	19	3	119	78
50～59歳	118	73	56	74	30	26	377	24	32	2	204	115
60～64歳	76	40	22	49	34	9	230	15	16	4	124	71
65～69歳	120	53	62	87	37	17	376	27	16	4	206	123
70～79歳	343	129	173	239	94	70	1,048	68	46	11	514	409
80～89歳	326	116	201	304	83	92	1,122	62	109	15	510	426
90歳以上	80	32	51	79	19	24	285	18	42	1	122	102
合計	1,299	538	639	914	339	267	3,996	237	320	48	1,982	1,409
うち65歳未満	430	208	152	205	106	64	1,165	62	107	17	630	349
うち65歳以上	869	330	487	709	233	203	2,831	175	213	31	1,352	1,060
65歳未満の割合	33.1%	38.7%	23.8%	22.4%	31.3%	24.0%	29.2%	26.2%	33.4%	35.4%	31.8%	24.8%
65歳以上の割合	66.9%	61.3%	76.2%	77.6%	68.7%	76.0%	70.8%	73.8%	66.6%	64.6%	68.2%	75.2%

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

※ 障害部位について、「視覚」は視覚障害、「聴/平」は聴覚・平衡機能障害、「音言そ」は音声・言語・そしゃく機能障害、「肢体」は肢体不自由、「内部」は内部機能障害をそれぞれ表します。

また、集計にあたり各種障害部位を併せ持つ（重複している）方については、代表的な障害部位で計上しています。



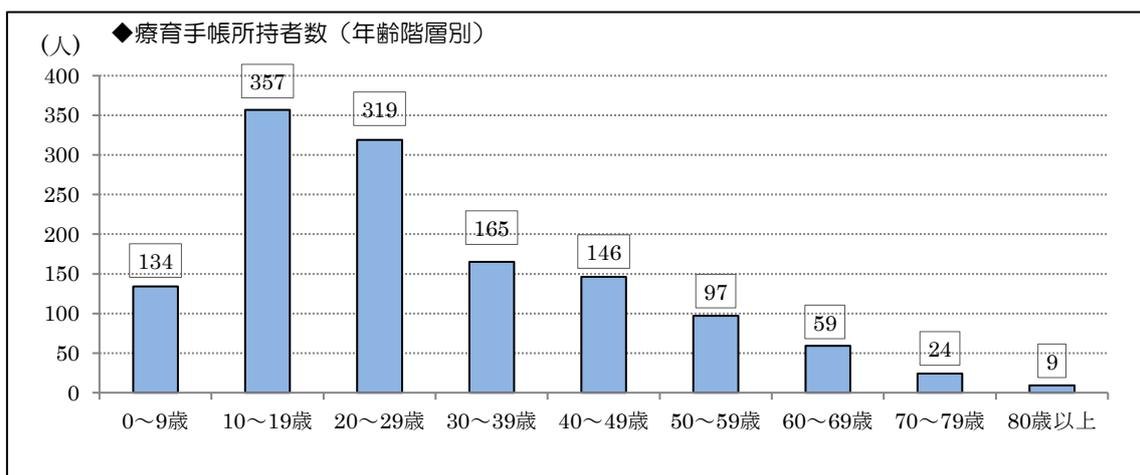
65歳以上が全体の70.8%（2,831人）を占めており、障害者の高齢化や加齢に伴う手帳取得が進んでいます。障害部位別の年齢階層別をみると、特に70歳以上の肢体不自由ならびに内部障害がとりわけ高い数値となっています。

②療育手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	A 1	A 2	B 1	B 2	計
0～9歳	18	21	23	72	134
10～19歳	47	50	72	188	357
20～29歳	45	39	102	133	319
30～39歳	32	28	45	60	165
40～49歳	24	21	44	57	146
50～59歳	15	13	30	39	97
60～69歳	10	9	17	23	59
70～79歳	3	3	8	10	24
80歳以上	2	2	2	3	9
合計	196	186	343	585	1,310

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

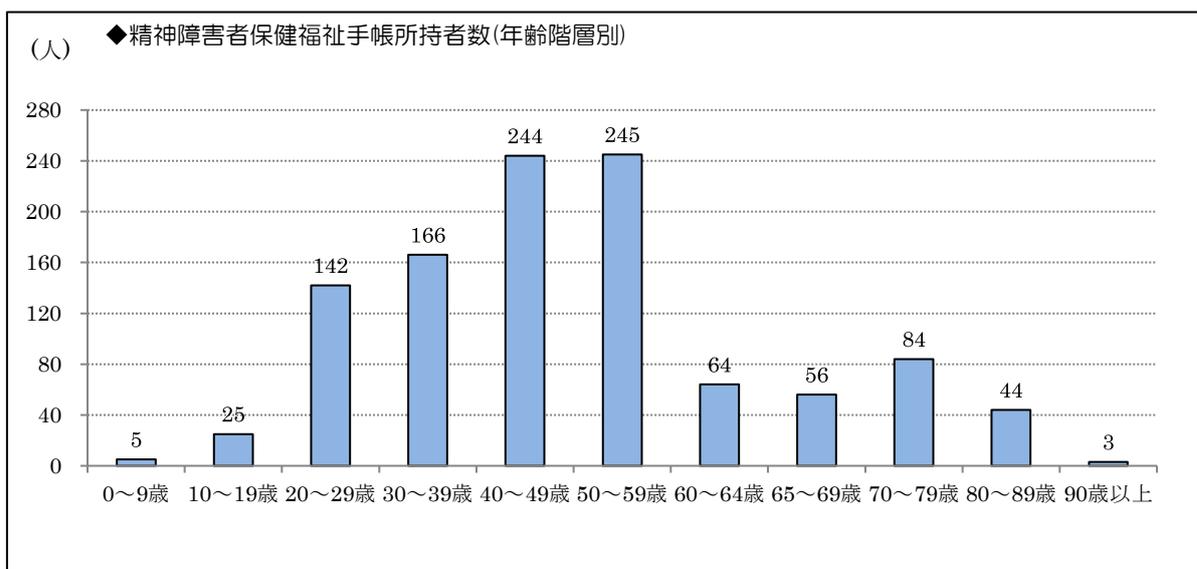


20歳未満が全体の約38%（491人）を占めています。平成29年度461人、平成30年度459人、令和元年度462人、令和2年度474人、令和3年度491人と年々増加しており、早期療育等の取り組みのなかで若年層の手帳取得が増えているものと思われます。また、10～19歳で特に多い理由は、就職活動などにおいて手帳の利用ニーズが高まることが一因だと思われます。

③精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	1級	2級	3級	計
0～9歳	0	2	3	5
10～19歳	0	21	4	25
20～29歳	6	80	56	142
30～39歳	4	98	64	166
40～49歳	12	152	80	244
50～59歳	12	159	74	245
60～64歳	9	39	16	64
65～69歳	9	35	12	56
70～79歳	21	54	9	84
80～89歳	21	21	2	44
90歳以上	1	2	0	3
合計	95	663	320	1078



20歳以上から59歳までの所持者数が全体の約74%（772人）を占めており、特に40歳代から50歳代の所持者が多くなっています。

6 障害支援区分の認定

◆障害支援区分認定者数の推移

(単位：人)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
区分1	53	32	31	27	21	20	18
身体障害者	6	2	3	3	3	3	3
知的障害者	23	17	17	17	10	11	12
精神障害者	24	13	11	7	8	6	3
区分2	134	137	147	141	159	148	137
身体障害者	15	15	16	17	19	12	10
知的障害者	68	61	72	68	62	56	51
精神障害者	51	61	59	56	78	80	76
区分3	73	81	93	97	106	118	136
身体障害者	18	15	15	13	13	11	12
知的障害者	45	52	52	51	55	72	80
精神障害者	10	14	26	33	38	35	44
区分4	62	63	75	79	77	86	98
身体障害者	17	11	13	14	16	14	14
知的障害者	39	42	45	48	45	55	63
精神障害者	6	10	17	17	16	17	21
区分5	66	60	60	60	70	62	70
身体障害者	24	15	15	14	22	21	18
知的障害者	41	43	44	43	44	39	46
精神障害者	1	2	1	3	4	2	6
区分6	104	117	120	128	126	137	148
身体障害者	29	31	33	31	32	59	64
知的障害者	74	85	86	96	93	78	84
精神障害者	1	1	1	1	1	0	0
合計	492	490	526	532	559	571	607
身体障害者	109	89	95	92	105	120	121
知的障害者	290	300	316	323	309	311	336
精神障害者	93	101	115	117	145	140	150
割合(%)	100	100	100	100	100	100	100
身体障害者	22.15	18.16	18.06	17.29	18.78	21.01	19.93
知的障害者	58.95	61.23	60.08	60.72	55.28	54.47	55.35
精神障害者	18.90	20.61	21.86	21.99	25.94	24.52	24.71

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

※ 障害程度区分の認定は18才以上の障害のある人を対象としています。

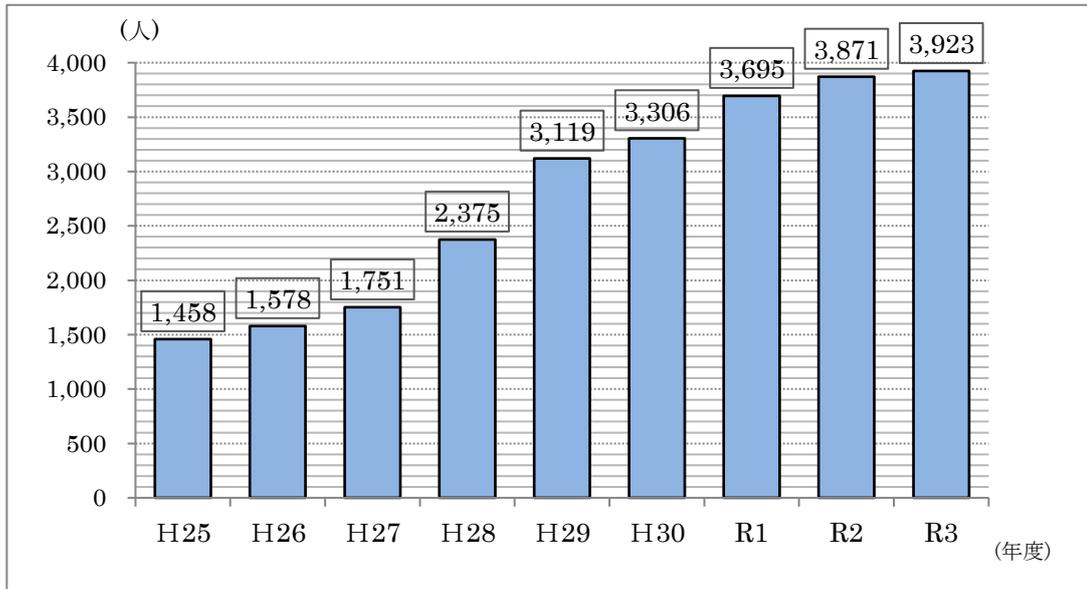
※ 平成26年4月から、障害程度区分は障害支援区分となりました。

障害支援区分認定者数全体としては、近年増加しており、精神障害者の割合が年々増加しております。区分6の重度の認定が増加している一方、区分1の軽度の認定は減少しています。

7 医療・保健の概況

① 自立支援医療

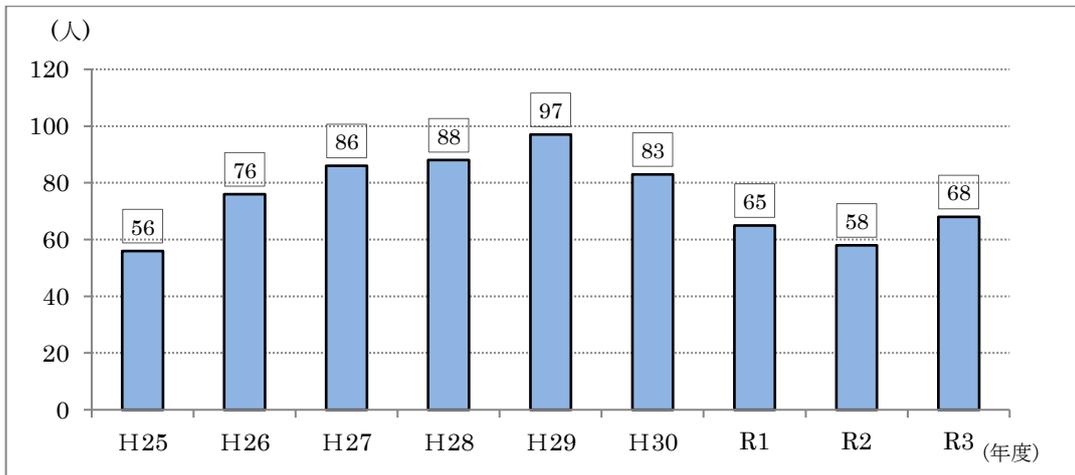
◆ 更生医療



(各年度末現在)
資料：福祉行政報告例

加齢等に伴う身体障害者数の増加により、利用者が増えています。人工透析、ペースメーカー埋め込み術、人工関節施行術などが該当しますが、特に人工透析は対象となる方が増えています。

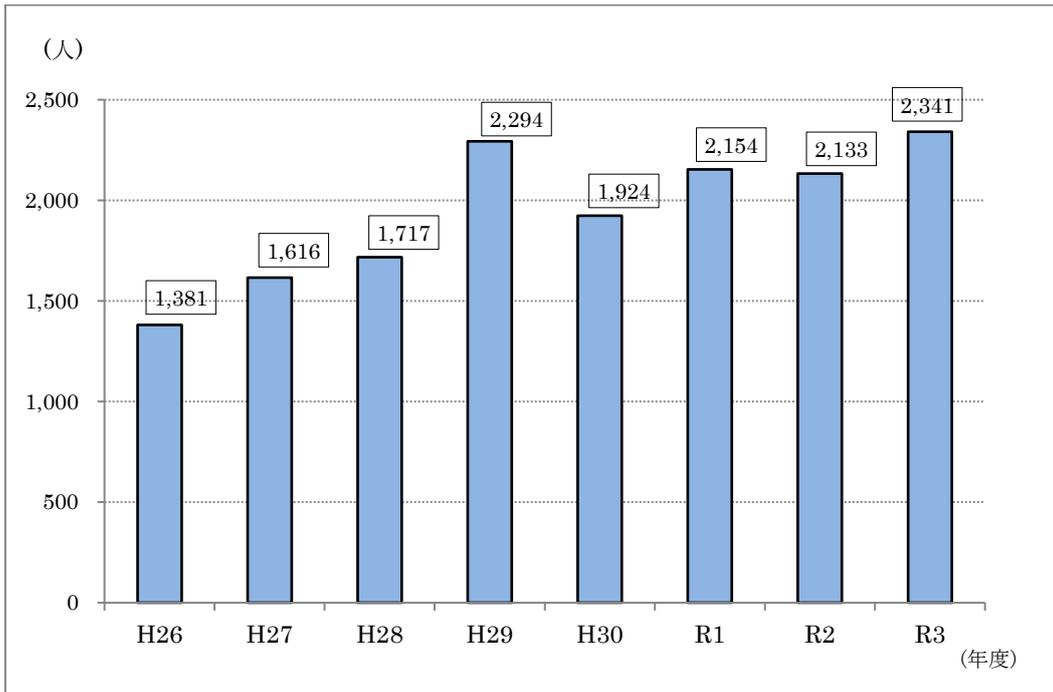
◆ 育成医療



(各年度末現在)
資料：福祉行政報告例

平成29年度から令和2年度までは減少傾向にありましたが、令和3年度は増加しました。

◆精神通院医療



(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

平成26年度から平成29年度までは増加し、平成30年度は減少していますが、その後は横ばいで推移し、令和3年度は増加しています。

②精神保健対策

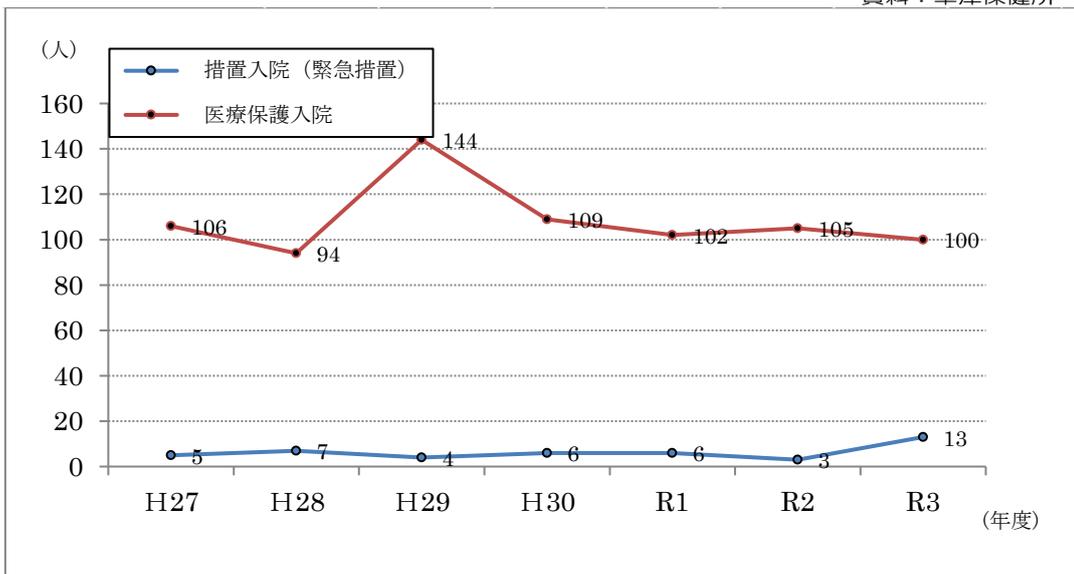
■入院患者数の推移

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
措置入院(緊急措置)	5	7	4	6	6	3	13
医療保護入院	106	94	144	109	102	105	100

(各年度末現在)

資料：草津保健所



措置入院については、横ばいで推移していましたが、令和3年度に13人と増加しました。医療保護入院については、ほぼ横ばいで推移しています。

第2節 障害等のある幼児・児童・生徒の推移等

1 就学前児童の状況

①保育所、認定こども園（保育認定）における障害児保育 (単位：園 人 %)

項目		年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
公立	園数			7	7	6	8	11	12	13
	園児	人		663	686	594	661	690	677	646
	加配対象園児	人		41	43	45	69	63	60	72
	対比	%		6.2	6.3	7.6	10.4	9.1	8.9	11.1
私立	園数			16	17	19	21	24	28	28
	園児	人		2,425	2,694	2,813	2,832	3,013	3,206	3,259
	加配対象園児	人		40	51	64	62	62	72	89
	対比	%		1.6	1.9	2.3	2.2	2.1	2.2	2.7
合計	園数			23	24	25	29	35	40	41
	園児	人		3,088	3,380	3,407	3,493	3,703	3,883	3,905
	加配対象園児	人		81	94	109	131	125	132	161
	対比	%		2.6	2.8	3.2	3.8	3.4	3.4	4.1

(各年5月1日現在)

資料：幼児課

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、公立の加配対象園児が増加しています。ただし、認定こども園の園児数については保育認定対象を上記の障害児保育で、教育認定対象を下記の障害児教育で計上しています。

②幼稚園（公立のみ）、認定こども園（教育認定）における障害児教育 (単位：園 人 %)

項目		年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
公立	園数			11	11	10	10	10	10	10
	園児	人		818	820	722	733	723	640	580
	加配対象園児	人		59	53	49	31	67	60	53
	対比	%		7.2	6.5	6.8	4.2	9.3	9.4	9.1
私立	園数			1	1	5	10	13	17	17
	園児	人		100	108	207	385	363	383	383
	加配対象園児	人		0	1	3	9	10	7	12
	対比	%		0.0	0.9	1.4	2.3	2.8	1.8	3.1
合計	園数			12	12	15	20	23	27	27
	園児	人		918	928	929	1,118	1,086	1,023	963
	加配対象園児	人		59	54	52	40	77	67	65
	対比	%		6.4	5.8	5.6	3.6	7.1	6.5	6.7

保育所、保育認定の認定こども園の加配対象児については、令和4年度は161人であり、約24人に1人の割合となっています。公立幼稚園、教育認定の認定こども園の加配対象児については、令和4年度は65人であり、約15人に1人の割合となっています。

2 学校教育の状況

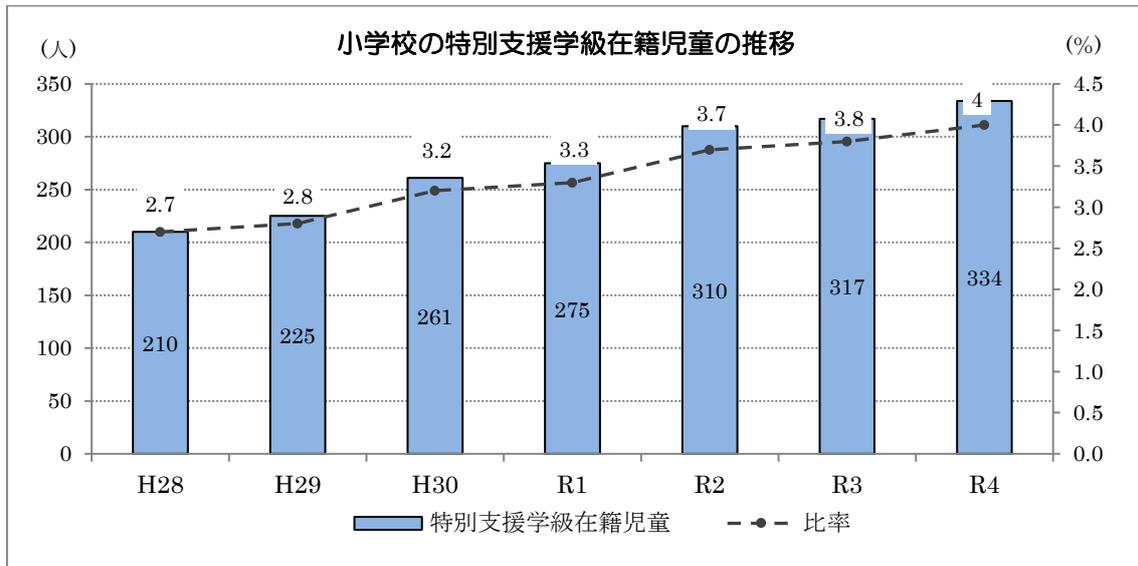
①公立小学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

項目	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
実学級	CL	311	314	326	333	335	337	338
特別支援学級	CL	50	52	55	61	60	64	63
児童	人	7,818	7,964	8,179	8,282	8,367	8,382	8,408
普通学級在籍児童	人	7,608	7,739	7,918	8,007	8,057	8,065	8,074
特別支援学級在籍児童	人	210	225	261	275	310	317	334
対比	%	2.7	2.8	3.2	3.3	3.7	3.8	4.0

(各年5月1日現在)

資料：児童生徒支援課



特別支援学級在籍児童については、年々増加傾向にあります。令和4年度は334人であり、約25人に1人の割合となっています。

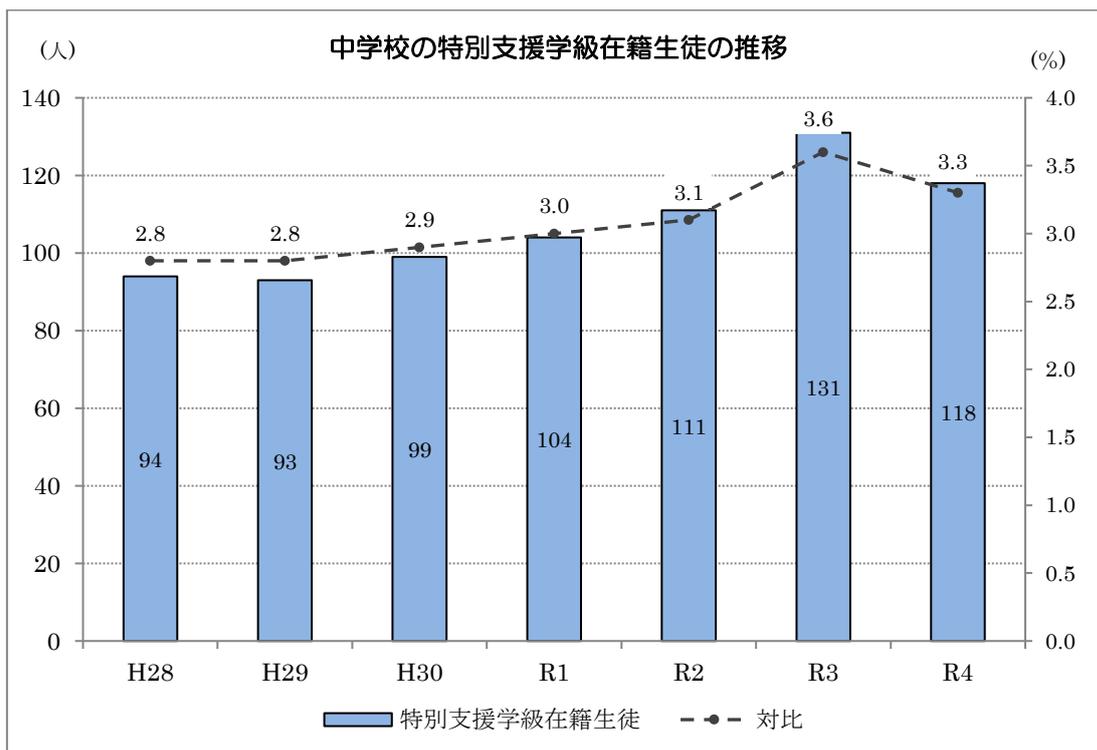
②公立中学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

項目	年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
実学級	CL		123	122	120	125	130	132	134
特別支援学級	CL		21	19	17	20	22	24	23
生徒	人		3,341	3,380	3,363	3,468	3,526	3,615	3,627
特別支援学級在籍生徒	人		94	93	99	104	111	131	118
対比	%		2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	3.6	3.3

(各年5月1日現在)

資料：児童生徒支援課



特別支援学級在籍生徒については、年々増加傾向にありましたが、令和4年度は118人と減少しました。割合としては、約31人に1人となっています。

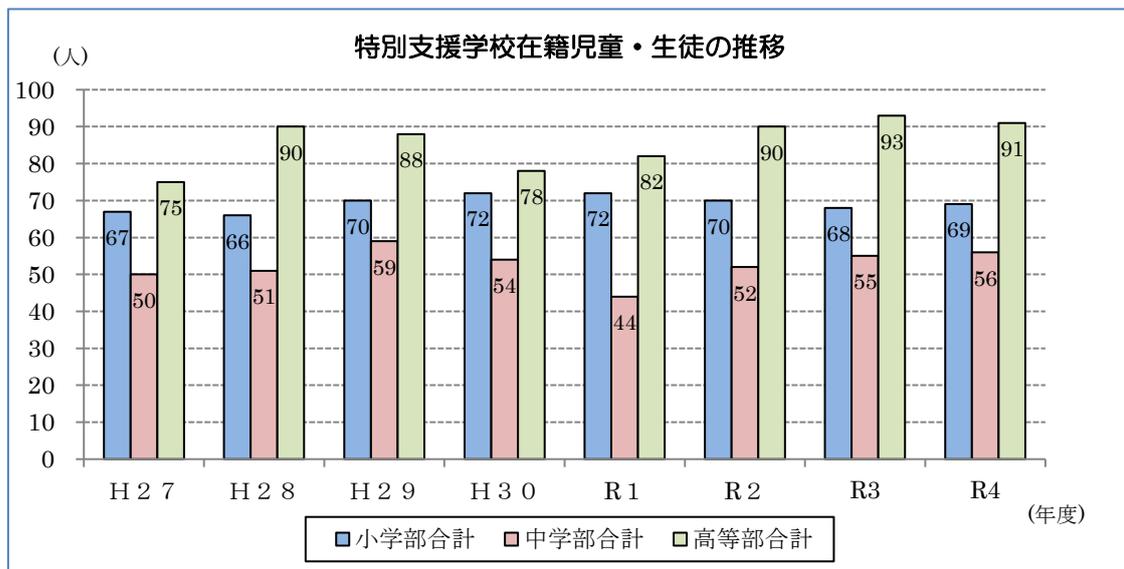
3 特別支援学校の児童・生徒

(単位 人)

区分	学校	年度							
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小学部	滋賀県立盲学校	1	1	1	1	1	0	0	1
	滋賀県立聾話学校	3	4	2	3	2	2	2	2
	滋賀県立草津養護学校	62	61	67	68	69	67	66	66
	滋賀県立三雲養護学校	1	0	0	0	0	0	0	0
	滋賀大学附属特別支援学校						1	0	0
	合計		67	66	70	72	72	70	68
中学部	滋賀県立盲学校	0	0	0	0	0	1	1	1
	滋賀県立聾話学校	3	2	1	1	1	1	1	1
	滋賀県立草津養護学校	44	46	57	52	42	42	46	47
	滋賀県立三雲養護学校	3	3	1	1	1	3	3	4
	滋賀大学附属特別支援学校						5	4	3
	合計		50	51	59	54	44	52	55
高等部	滋賀県立盲学校	2	0	1	1	0	0	0	0
	滋賀県立聾話学校	0	1	2	2	1	1	1	1
	滋賀県立草津養護学校	57	66	60	54	56	68	65	60
	滋賀県立甲南高等養護学校	4	3	4	4	6	7	12	11
	滋賀県立三雲養護学校	10	14	12	7	5	11	12	15
	滋賀大学附属特別支援学校	2	6	9	10	14	3	3	4
	合計		75	90	88	78	82	90	93

(各年5月1日現在) | 1日現在)

資料：障害福祉課調べ 福祉課調べ



特別支援学校在籍児童・生徒については、年々増加傾向にあります。